

次期医学部附属病院長の選考結果・選考過程・選考理由について

1. 次期医学部附属病院長（選考結果）

氏名：佐久間 肇（さくま はじめ）

現職：国立大学法人三重大学 理事（企画・経営・附属病院）・副学長

任期：令和7年4月1日から令和10年3月31日まで

2. 選考過程

令和5年 7月25日	役員会において、 三重大学医学部附属病院長候補者選考会議委員を選出。
令和6年 8月5日	第1回選考会議を開催 三重大学医学部附属病院長候補者選考基準の策定
8月21日	第2回選考会議を開催 三重大学医学部附属病院長候補者選考基準、公示（公募）の方法を決定
9月11日	病院長候補者選考に係る公示 [公募期間：令和6年9月24日～10月11日]
10月21日	第3回選考会議を開催 応募状況（佐久間肇氏1名）を確認し、1名で選考を進めることを決定 ヒアリングの実施方法を決定
11月13日	第4回選考会議を開催 候補適任者によるプレゼンテーションと候補適任者へのヒアリングを実施 佐久間肇氏を病院長候補者として学長に推薦することを決定
11月14日	選考会議から学長に対し、佐久間肇氏を病院長候補者として推薦する旨の通知
12月12日	佐久間肇氏を次期病院長に決定

3. 選考理由

以下の理由から、佐久間肇氏が三重大学医学部附属病院長候補者選考基準において定める資質・能力を有していると判断し、次期病院長とすることを決定した。

(1) 医療安全確保のために必要な資質・能力

三重大学医学部附属病院医療安全管理委員会委員を6年、診療担当副病院長を2年、医療情報管理部長を6年務め、医療安全管理に係る業務の経験を十分に積んでいる。また、職員の常時の対応力を高めることや、医療従事者の「心理的安全性」の向上を図ることなどを掲げており、患者安全を第一に考える姿勢と優れた指導力を有している。

(2) 病院の管理運営・経営に必要な資質・能力

放射線部の責任者を15年、副病院長を8年務め、現在は理事（企画・経営・附属病院担当）を務めるなど、長く附属病院の管理運営・経営の枢機に参画し、病院経営に関する深い見識があり、特定機能病院の管理運営・経営に必要な資質・能力を十分に有している。

(3) 中長期的な目標の達成に向け、医学部長及び学長と連携して取り組む資質・能力

管理運営・経営、教育、研究、社会活動において、三重大学医学部附属病院の基本理念や三重大学ビジョン、アクションプラン等の中長期的な目標に対する現状分析及び将来ビジョンを示しており、三重大学医学部附属病院の課題について医学部長及び学長と連携して取り組む姿勢と優れた指導力を有している。

(4) 三重県の拠点病院として、地域医療に貢献するために必要な資質・能力

地域における大学病院の役割、在り方だけでなく、医師偏在・診療科偏在などの課題も正確に理解し、三重県や三重県医師会、三重大学関係病院など関係諸機関と連携を取りながら県域全体の医療に貢献することについて、確実に推進する姿勢と優れた指導力を有している。

以上